

2016年6月24日(金)～7月2日(土)

震災・復興とリスクマネジメント () 国際都市神戸と世界の文化 () 提言：国際紛争・対立から平和・協調へ () グローバルサイエンスと拠点都市神戸 (○) その他 ()

SGH グローバルアクションプログラム英国ケンブリッジ研修

〔概要〕英国(ロンドン、ケンブリッジ)での生活・学習において、授業で学習した英語を実際に使用することにより、国際対話力及び英語活用能力を向上させる。さらには、現地での調査活動を通して「グローバルサイエンスと拠点都市神戸」をはじめとする課題研究(卒業研究)における研究内容の充実を図る。男子2名、女子3名の合計5名(5127 藤原啓伍、5321 廣川正太、5108 齋藤乃愛、5212 小西弥杏、5322 藤川理沙)が参加し増見敦(グローバル教育推進室・第5学年主任・英語科教諭)が引率した。

【一日目】6月24日(金)



今から長旅が始まります。関西空港に早朝 7:15 の集合にも関わらず、元気に全員集まりました。

約 2 時間後、韓国(仁川)にて乗継です。とにかく空港が広い!!!いよいよここから 11 時間かけてヒースローに向かいます。

※ヒースロー空港に着きました。入国にかなり時間がかかります。するといきなり「イギリス離脱」のニュースが飛びこんできました。



地下鉄で Russell Square に向かいます。空港から 55 分かかります。

20 時を過ぎても明るいです。街は落ち着いています。

本日と明日宿泊するホテルにようやく到着。20 時間かかりました。



BBC は“UK VOTES TO LEAVE” Live ニュース。まさかの事態です、との声も。

【二日目】6月25日(土)

「ロンドン市内課題研究フィールドワーク」

※第一回英国修学旅行の下見の時からお世話になっている、現地日本人ガイド(ミナミさん)の方に同行していただきました。



9:00 ホテルロビーにて打ち合わせ
 あらかじめこちらからお送りしていた各自の調査目的に関する資料を見ていただきつつ、5名それぞれの希望する調査内容についてミナミさんに聞いていただき、本日の行程を調整しました。以下、生徒それぞれの研究テーマです。
 Bian Konishi
 “Vaccine’s future from the point of view of safety and convenience”
 Keigo Fujiwara
 “Relationship among UK, Australia and Japan”
 Noa Saito
 “Discovering the sustainability of Japan through Olympics”
 Risa Fujikawa
 “Behavioral economics”
 Shotaro Hirokawa
 “The sustainable railway learn from the U.K. -Application for Japanese railway-“
 一同、ミナミさんの知識の豊富さに圧倒…。



1時間の打ち合わせの後、いよいよ出発。ミナミ組と増見組と分かれますが、まずは全員一緒にキングスクロス駅へ。途中昨日の EU 離脱に関する号外新聞を手に入れました。そして、地下階から外へ。目の前の建物(この写真はセントバンクラス駅)の美しさに全員一気にテンションが上がります。



そしてキングスクロス駅(映画『ハリー・ポッター』の撮影で使われたことでも有名)に感激!!



鉄道研究がテーマの廣川君は、ミナミさんへの質問も増えていきます。



駅構内にて。



廣川君からは鋭い質問が止まりません。

※この後、ミナミ組(廣川、斎藤)は国鉄を利用して、東部のオリンピックパークに行き、各種施設とアンケート調査を、一方、増見組(小西、藤川)は西部の Science Museum と大型ショッピングモールへ。藤原君は英国人対象の EU 意識アンケート調査のため単独で大英博物館方面を目指します。



昼食後、増見組は最初に Science Museum へ。しかし小西さんの目的物(初期ワクチン接種治療器具)が見つからずさまよっていると、地震をテーマにした展示を発見。日本の震災の状況についても実に詳細な内容が展示されていました。しかし目的物が見つからず、とりあえず



さて、ようやく目的の Medical のコーナーへ。しかし、またしても目的の器具が見つからない。とりあえず時間がないのであらゆる展示を写真に収めます。



インフォメーション受付へ。デスクの方は先ほどの場所があると教えてくれます。その後もう一度行くが、見つからず、仕方なく退散…。

<p>外に。するとそこは Natural History Museum であったことに気付く。一同気を取り直して、隣の博物館へ移動。同じ道を本日 4 回通る羽目に…。</p>		
		
<p>さて次は「行動経済学」の調査。まずは陳列棚の「端」の調査から。</p>	<p>次は床の色の調査。</p>	<p>次は階段の上から。ヒトの動きを観察。</p>
		
<p>そうして 16:00 に、多くの生徒が行きたいと言っていた「テート・モダン」にて全員再集合。どの生徒も自分の足を使った調査を終えて、とてもいい表情です。藤原君は EU について 200 名にインタビューし、苦勞の甲斐あって十分な量のアンケートも採れたようです。ちなみにアンケート結果は「残留組」が 100%とのこと。ここロンドンは残留勢力が多かったためでしょうか。その後、せっかくなのでテート・モダンの作品をミナミさんにガイドしていただきました。小西さんはミナミさんにあの「器具」のことをお伺いすると、階が違っていたことが判明。</p>		
<p>※ピカデリーサーカスにて、ミナミさんに感謝を伝え、お別れ。こうして、あっという間の 1 日が終わりました。</p>		
<p>【三日目】6月26日(日) 「ロンドンからケンブリッジへ」</p>		
		
<p>9:00 ホテルロビーに集合 本日の予定を確認後、午前中はロンドン市内フィールドワークを行います。 荷物をコンシェルジュに預けて、いざ出発。</p>	<p>小西・廣川組は Science Museum へ</p>	<p>例の「器具」を再度探しても、見つからず、受付の方に。現在は展示されていないとのこと。とても残念…。</p>
<p>※12:30 にホテル再集合。ここからいよいよケンブリッジに向かいます。本日は日曜ということもあり、どこも人ごみが多く、移動も大変。地下鉄も満員で、大きなスーツケースを抱え、優しい紳士からお声をかけていただく</p>		

ことも。



なんとか“Liverpool Station”到着。

廣川君は、増見が事前予約しておいた全員分のチケットの発券をしています。

さあ、出発。ケンブリッジまで約 80 分の旅です。

15:19 にケンブリッジ駅に到着。



20 分ほどで学校に到着。すぐにホームステイファミリーが迎えに来てくれました。

【四日目】6月27日（月）
「学校訪問 1 日目」



8:30 登校後、CVC 校長の Munday 先生との懇談です。
Alison さん、Steve 先生、バディーの生徒の皆さん(主に生徒会の皆さん)も参加して下さいました。



8:50 Period 1 - Tour of school
生徒会の皆さんが学校を案内してくれました。



Period 2 授業参加



試験の都合で当初の予定から変わりました。ここでは全員 Product Design の授業を受けています。



Period 3 6th form の生徒の皆さん(主にバディー)と懇談。主に各自の課題研究に関するディスカッション、そしてアンケート等にも答えていただき、最後は自由に交流の時間を持ちました。



Period 4 Economics と Product Design に分かれて授業を受けました。こちらは Economics の様子です。明日の試験に備え復習 + α をされました。かなりレベルの高い内容でした。

Lunch Time
School Cafeteria を利用させていただきバディーと一緒に昼食をとりました。胸につけている認証カードを利用して購入します。



Periods 5,6 Photography の授業に参加しました。明日からのイベントの Exhibition に向けて、学校ホール内に掲示する作品の「品定め」をしています。各自、選定理由について発表しています。

14:50 授業終了。それぞれ帰宅しました。あっという間の一日でした。

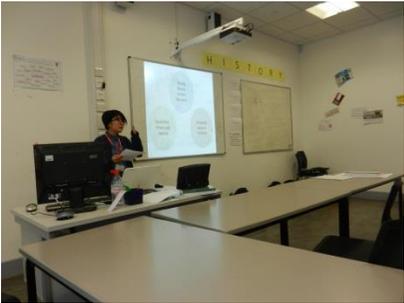
【五日目】6月28日(火)

「学校訪問2日目」

Period 1,2 Individual Research Presentation

各自の卒業研究について、各自の研究の視点、Research Question、現在までの調査内容(ロンドン滞在中等含む)等について、英語によるプレゼンテーションを行いました。先生方の前でのプレゼンテーションです。どのプレゼンテーションにも興味を示していただき、質問やアドバイスをいただきました。今後も継続して研究をサポートいたしますよと、ありがたい声もいただきました。



<p>いよいよ本番です。</p>	<p>小西さん(ワクチンをテーマに)</p>	<p>どの先生も熱心に聞き入って下さっています。</p>
		
<p>廣川君(鉄道と Sustainability をテーマに)</p>	<p>藤川さん(行動経済学-コンビニエンスストアを対象に)</p>	<p>斎藤さん(オリンピックと Sustainability をテーマに)</p>
		
<p>藤原君(EU と英国をテーマに)</p>	<p>先生方にアンケートの協力を求めるメンバーもいました。</p>	
<p>※その後部屋から退出される先生方それぞれに御礼を申し上げて、この授業を終えました。</p>		
		
<p>Period 3,4 Biology と Sociology の 2 組に分かれて授業を受けました。</p>		
<p>昼食 いろいろな先生方から「午前中のプレゼンテーション良かったですね」と声をかけて下さりました。 南アフリカからの訪問団の皆さんも近くにおられましたので、互いに挨拶もしました。</p>		
		
<p>Period 5,6 Psychology の授業に全員参加しました。南アフリカの生徒の皆さんも一緒です。</p>	<p>授業中も外はととても静かです。聞こえてくるのはたまに通る車の音と、鳥の声です。</p>	



14:40 2日目の訪問が終了しました。それぞれバディーの皆さんと一緒に帰宅します。玄関は行先の異なるバスで一杯(約20台)です

【六日目】6月29日(水)

「学校訪問3日目 ケンブリッジ市内見学」



朝に、今回お世話になっている Steve 先生担当の Year 7(日本の中1段階)の SHR に参加しました。諸連絡後、Fieldにて授業開始までの間、フリスビーを一緒にしました。とてつもなく広い!!一面芝生で気持ち良いです。その後、バスで市内に向かいます。Kings College のご出身で、CVC の教師をされて退職をなさった Charles Web さんのガイドの下(ぜいたく!!)、市内を巡ります。南アフリカの訪問団の生徒の皆さんも一緒です。



↑ Charles Dawin がかつて大学生時代に過ごした場所



↑ 31あるカレッジの内いくつかを回っていきます。ガイダンスを聞いていると、実に深い歴史を感じます。



次は、ケム川の Punting をして、街を巡ります。



次は Trinity College と Kings College へ。この街で学びたい…と思ってしまう。

Newton 像の前で



18:30 に学校に戻りました。南アフリカの訪問団の皆さんと、ホストファミリーの皆さんとで BBQ をしました。雨が降っていたので、残念ながら、屋内での夕食会となります。どのホストファミリーの方々もみな「生徒達は本当に一生懸命で、何の問題もないです、素晴らしい。」と言ってきています。20:30 頃それぞれ家路につきました。外はまだまだ明るいです。

【七日目】6月30日(木)

「学校訪問4日目 Leicestershire University オープンキャンパス参加」

※今日は6th Formの皆さんとともに Leicester University を訪問します。いわゆる日本の「オープンキャンパス(Schools' taster Conference)」に参加し、希望する授業を体験します。



3台のバスに分かれて出発です。Leicestershire はケンブリッジからバスで2時間ほど離れた場所です。

各地からの多くの高校生で賑わっています。

講義室の場所を Student Union の皆さんに聞きつつ、模擬講義に向かいます。



Taster Session:
“Everyday Jewish life during the holocaust”



Taser Session:
“What's hate got to do with it?: Understanding hate crime
perpetration”



Tater Sesson:
“Writing Brilliant Dialogue: A Creative Writing Lecture”

15:30 ケンブリッジに戻ります

17:30 学校到着後ホームステイファミリーの車で帰宅です。今日で英国で最後の夜となります。

【八日目】7月1日（金）

「学校訪問 5 日目」8:30 それぞれの家庭でお別れをして集まりました。



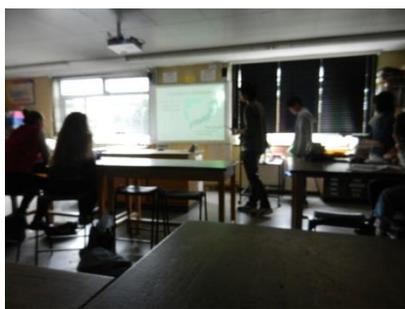
Year 7 の Morning Assembly です。諸連絡と南アフリカの皆さんからはダンスや歌が披露されました。

Period 2

Earthquake Presentation 1 回目 Year 11 の皆さんに日本の地震についてプレゼンテーションをしました。5 人グループでの発表になります。



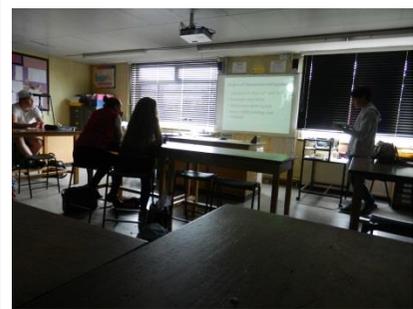
【概要】
日本の場所、4 つのプレート、等



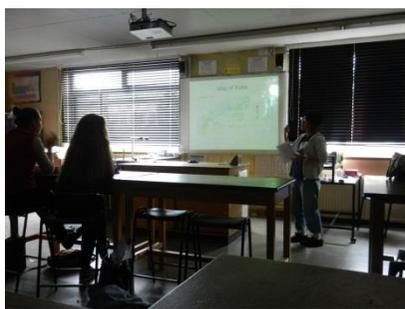
【具体①阪神・淡路】
親戚の体験談、等



【具体②東日本】
同世代の語り部、等



【具体③九州】

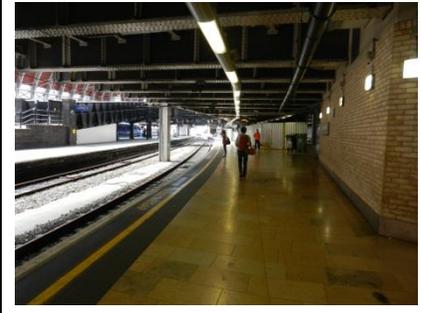


【防災】



熱心に聞いて下さっています。

現況、等	自身への備え、等	
		
<p>皆さんに避難訓練の一端を体験していただきました。</p>		
<p>Period 3 Earthquake Presentation 2 回目 Steve 先生の紹介の後、Year 10 の皆さんにプレゼンテーションをさせていただきました。プレゼンの後、短時間ですが交流の時間を持ちました。</p>		
		
		
		
		

<p>お世話になった Steve 先生と。大変実りある交流となり、感謝の気持ちで一杯です。</p>		
		
<p>13:04 にケンブリッジ駅を出ます。廣川君が列車のチケットを発券してくれています。ロンドンまで 1 時間 10 分です</p>	<p>14:14 ロンドン・リバプールストリート駅 鉄道、地下鉄の移動も慣れたものです!!</p>	
		
<p>パディントン (Paddington) 駅で空港行きの鉄道「ヒースロー・コネク (Heathrow Connect)」乗り換え</p>	<p>ロンドン・ヒースロー空港到着後、自動発券機へ→荷物 Drop、自分達 で大丈夫です。これも勉強。</p>	<p>今から仁川まで 10 時間の長旅です。</p>
<p>【九日目】 7 月 2 日 (土)</p>		
		
<p>14:25 仁川に到着しました。乗継の時間が 40 分ほどしかなく、Security Check の後、休憩のないまま関西行きに突入です…。</p>	<p>17:05 関西国際空港に無事到着。実にすばらしい内容の研修となりま した! Brilliant, everyone!</p>	